

エクストリームシリーズ奥大井大会における事故報告

9月8日（土）に開催しました『エクストリームシリーズ奥大井大会』で発生いたしました事故についてご報告させていただきます。

事故は、スタート直後のトレッキングセクションにておこりました。チームメイトからの連絡により、大会責任者である我部、大会救護班でもあります国士舘大学救急救命士2名が山中の現場に駆け付けました。熱中症と判断し救急処置を行いながらも、足場の悪い山中でもあったため、多くの他のチームのお力添えにより、タンカでの搬送を開始いたしました。

直後、静岡市消防局の救助隊も現場に到着し、懸命の救助作業を行いました。天候も安定しない状況の中ではありましたが、ヘリコプターを要請、防災ヘリにて静岡県立総合病院救急救命センターへ緊急搬送されました。

病院でも一度は意識が戻った様子でしたが、すぐにICUに移動され、医師による手当が行われてきましたが、21日後の9月29日に息を引き取られました。

私もこの約2か月半、ご遺族の方とともに経過を見守らせていただきました。ご遺族のことを思うと胸が張り裂ける思いでいっぱい、本当に悔しくて残念でなりません。

今回の事故に関して、非常に重く受け止めております。3日前までの台風21号の影響で、カヌー、川の渡渉はもちろんのこと、川に近づくことを禁止するといったコースの大幅な変更、安全が保障できないところは排除しての開催となりました。当日は、雨は降ったり止んだりという天候でしたが、気温も23℃と、今夏の暑さに比べれば過ごしやすい気候ではありましたが事故は起こりました。

今後、どのような状況でも事故は起こりうることを、そして、このような悲しみでしかない出来事を起こしてはいけないと改めて痛感しております。

今一度、この事実を受け止め、大会としても安全対策を見直し、それにそって今後努めていくことが必要であると共に、アドベンチャーレース主催者や関係者にも共有していくことで、今後の事故再発防止につながると感じております。

この度のご報告は、ご遺族のお気持ちを第一にと考えていたため、遅くなりましたこと、お詫びいたします。

亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りするとともに、ご遺族へのお悔やみを申し上げます。

2018年11月26日

エクストリームシリーズ奥大井大会
大会責任者 我部 乱